

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	敦賀市立子ども発達支援センター パラレル 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	市内の各保育園、施設との連携が密に行われている。	・市内の保育園・幼稚園・養護施設を対象に、療育について学んだり視覚支援、環境の作り方等を見たり触れたりする研修の実施を定期的に行っている。 ・保育所等訪問支援で繋がっていないお子さんに関しても、各施設に困りごとがあり要望があれば訪問してアドバイスをしている。	保育士研修は要望が多いため、今後は回数を増やしていく必要を感じている。また場合によっては各施設での訪問研修も検討している。
2	地域との繋がりのを得て、イベントの充実。	・キッチンカー、企業、市内で活動されている方々の協力もあり、イベントが充実している。地域の方々へパラレルを知ってもらう機会となっているとともに、「障がい理解」にも繋がっている。	その他の一般の方々への「パラレル」を知ってもらう機会がこれからの課題となっている。療育現場が身近なものになるために様々な活動を検討していきたい。
3	家族支援・きょうだい支援に力を入れている。	障がいを抱える家族の話を聞く研修や講演会、またきょうだい児対象のイベントに力を入れている。	「きょうだい支援」自体が敦賀市の中でニーズがあるにも関わらず、周知度が低い。その周知度を上げるための講演・研修や、パラレルの利用者以外の地域の方々へイベントの呼びかけをしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市街地から少し離れているところに施設が立地されていることもあり、送迎を負担に感じておられる保護者の方がおられる。	営業時間外の送迎は、希望に添えないことがある。その際は一度保育園送迎をお願いしている。	保育園の送迎も含めて、保護者の方の負担にならないようにニーズを細かく聞き取るとともに保育園へのご理解・ご協力を呼び掛ける。
2	保護者の方向けの研修は、参加者が少ない。	働いている保護者の方が多いので、融通をつけにくい。また参加をしたいと思っても、託児にも限りがある。	パラレルの開催したい時間帯と、保護者の方の希望時間が違うことが分かったので、時間帯を含め検討していきたい。また家族支援として行った講演会はニーズが高かったので、第二回を検討している。
3			